

## 府民参加型公共事業委員会開催結果

- 1 日時 令和4年8月10日(水) 13:30~15:00  
2 場所 Web会議  
3 委員

舞鶴工業高等専門学校教授	玉田 和也 (座長)
京都府立大学公共政策学部准教授	三宅 裕樹
京都府立大学大学院准教授	三好 岩生
VPO 法人人と自然とまちづくりと理事長	横山 葵
宮津市建設部長	森口 英一
井手町理事兼総務課長	脇本 和弘

傍聴者 2名

### 4 議事

#### 府民協働型インフラ保全事業について(建設交通部・京都府警察本部)

- ① 事業制度について
- ② 令和3年度事業の概要について  
交通安全施設の整備について
- ③ 提案者情報及びアンケート調査について
- ④ 制度運用について
- ⑤ 制度活用について

### 5 主な委員意見

- ・ 自治会の提案を市町村が集約・提出する方法など、自治会の提案スキルが上がる取組も重要である。
- ・ 京都府の人材や予算が無尽蔵にある訳ではないことを徐々に府民に理解してもらえるようにした方が良い。
- ・ 不採択提案の中にこそ、事業化すべきものや他の管理者へ報告すべきものが隠れているため、不採択提案を減らす方策をとる必要はないと考える。
- ・ 府民に理解いただくために、本事業へアクセスしやすいWebサイトにすべきである。
- ・ 土木事務所単位で管理しているSNSなども用いて、本事業のWebサイトへアクセスできるような発信を行うとよい。
- ・ 電子で申請された方へはメールかWebサイトでの掲載で結果をお伝えする方が、いいのではないかと。
- ・ 府民が何を望んでいるのかを学ぶ姿勢を持っていただきたい。
- ・ 自治会長などが市町村へ相談に来られた場合、提案内容を確認の上、本事業を案内している。電子申請も必要なツールであるが、様々な方法で提案可能な体制としていることは良い。